

ホワイト印刷 入稿データ作成方法

- 1 Adobe Illustratorでデータ作成
- 2 レイヤーの確認・設定
- 3 特色にてカラー指定
- 4 オーバープリント指定
- 5 分版レビューで確認
- 6 用紙の特徴
- 7 しおり 穴あけ指示について

Adobe Illustratorでデータ作成

ホワイト印刷は、Adobe Illustratorをご利用の上で作成下さい。

東京カラー印刷専用テンプレート(aiデータ)もご用意しておりますので、ご自由にお使いください。

※レイヤー分け、特色指定、オーバープリントの設定が必要なため、Illustratorのみ対応とさせていただきます

レイヤーの確認・設定

- ・ホワイト印刷を行うには、ホワイトで印刷するオブジェクトとCMYKで印刷するオブジェクト、それぞれ別のレイヤーに分ける必要があります。
- ・レイヤー名は「White_下」「CMYK」「White_上」の三ついずれかで作成下さい。
- ・ホワイトで印刷するオブジェクトは、K(ブラック)もしくはグレースケールで作成頂き、「White_下」もしくは「White_上」で特色指定をしていただく必要がございます。
- ・レイヤーの順番は、ホワイトをCMYKの下にする場合と上にする場合で順番が変わります。

レイヤーの確認・設定

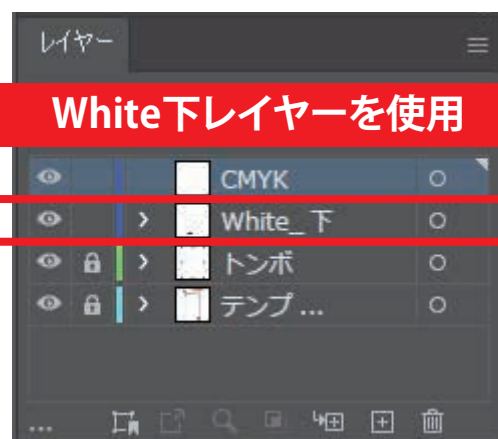
ホワイト単色で印刷する場合



仕上がりイメージ



(ACカードまあかに印刷した場合)



レイヤー名「White_下」にデザインを行ってください。
※ホワイト単色の場合は、「CMYK」レイヤーは使用しないでください。

ホワイトをCMYKの下に印刷する場合



仕上がりイメージ



(モダンクラフトに印刷した場合)

CMYKで印刷するオブジェクトは「CMYK版」レイヤーに、ホワイトで印刷するオブジェクトは「White_下」レイヤーにデザインを行ってください。

色紙にCMYKを印刷する場合、CMYKのみだと色が沈んでしまうため、下地にホワイトを印刷することをおすすめします。(モダンクラフトは除く)

また、ホワイトを下地に印刷する場合は、CMYK版のオブジェクトは必ずオーバープリントの指定をして下さい。



ワンポイント

下地としてホワイト印刷をする場合は上下左右0.2mmほどオフセットしていただくと印刷時に版ズレが起きた際にも白地が目立ちにくくなります。

データNG例



下地ホワイトあり

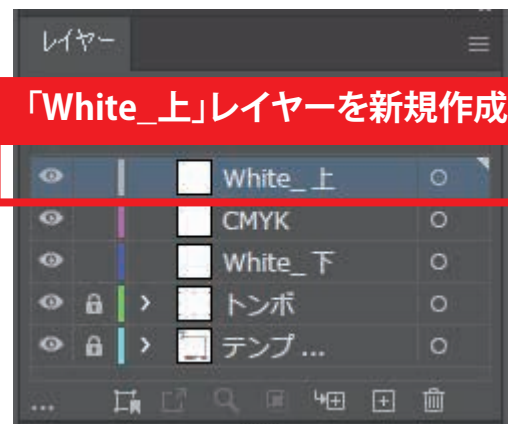


下地ホワイトなし

例外として、黒(K100%)やリッチブラックのベタ面の場合は下地にホワイトを印刷すると、左図のようにムラが発生したり、色が薄くなったりしますので、下地にホワイトは配置しないでください。

レイヤーの確認・設定

ホワイトをCMYK版の上に印刷する場合



仕上がりイメージ



「White_上」という名称のレイヤーを「CMYK版」の上に新たに作成し、そのレイヤーにホワイトで印刷するオブジェクトを配置してください。

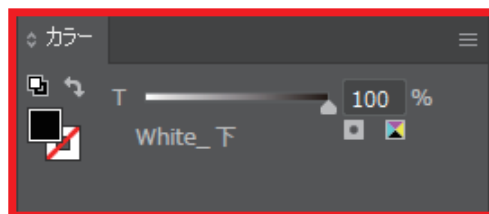
次に、スウォッチパネルのオプションから「新規スウォッチ」をクリックし、「White_上」という名前のスウォッチを新たに作成してください。「White_上」レイヤーで使うオブジェクトは、この特色「White_上」でご作成下さい。

トレーシングペーパーに印刷した場合
(トレペは半透明なので背景が透けます)

トレーシングペーパーでは、CMYKの下に「White_下」レイヤーは使用しないでください。

特色にてカラー指定

ホワイトで印刷するオブジェクトは、スウォッチパレットで、特色のカラー指定をする必要があります。「White_下」レイヤーの、ホワイトで印刷するオブジェクトは、予めテンプレートに登録されているスウォッチ「White_下」を指定してください。

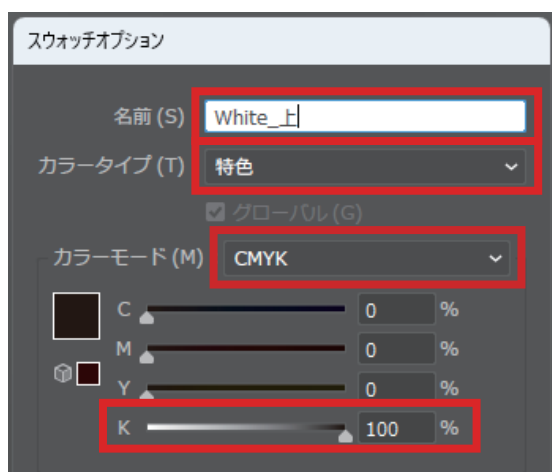


※データ上は、特色で指定した箇所は分かりやすく黒色で見せていますが、実際はホワイトで印刷されます。

ホワイトで印刷するオブジェクトに特色が指定されていない、またはスウォッチ名が指定の名称から変更されている場合は、想定外の仕上がりになりますので、ご注意ください

White_上を追加した場合

「White_上」レイヤーを追加した場合は、ホワイトで印刷するオブジェクトのスウォッチも新たに作成していただく必要があります。スウォッチパネルのオプションから「新規スウォッチ」を選択し、下図の通り設定をしてください。

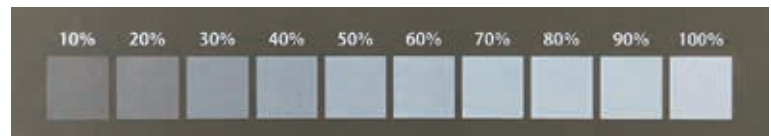


名前: White_上
カラータイプ: 特色
カラーモード: CMYK
色数値: K100%

※カラータイプ、カラーモード、色数値は「White_下」と同じです。

スウォッチ設定を誤って削除してしまった場合も「新規スウォッチ」より設定をしてください。

ホワイトの濃度調整はウインドウメニューから「カラー」パネルを表示してご調整ください。



※データ指定の濃度数値と実際の濃度には違いがありますのでご注意ください。濃度差をはっきりとつけることをおすすめします。

また濃度が5%未満の場合は、インクが上手く定着しない可能性があります。

オーバープリント指定

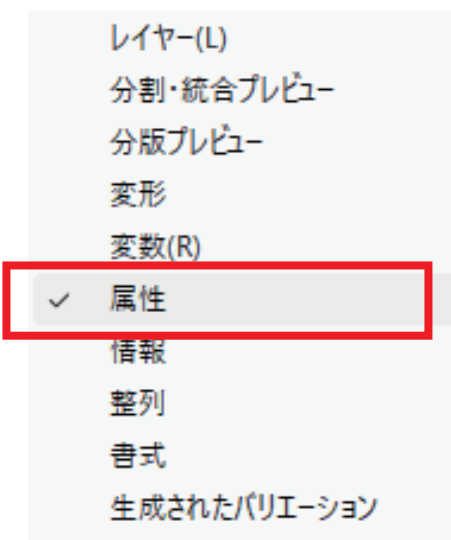
下地としてホワイトを印刷しているCMYKのオブジェクトは、オーバープリントのチェックを入れてください。

ウインドウメニューから「属性」を選択し、属性ウィンドウを表示してください。

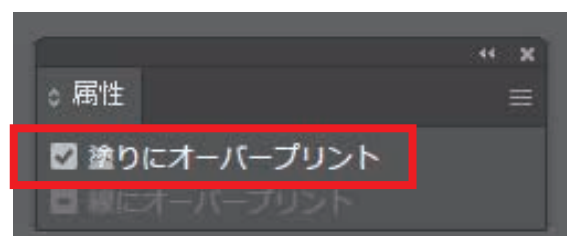
オーバープリントしたいオブジェクトを選択し「塗りにオーバープリント」「線にオーバープリント」にチェックを入れてください。

※オブジェクトを選択していない状態では、オーバープリントの指定が出来ませんのでご注意ください。

※オブジェクトによりオーバープリントの使い分けが可能です。



オブジェクト選択

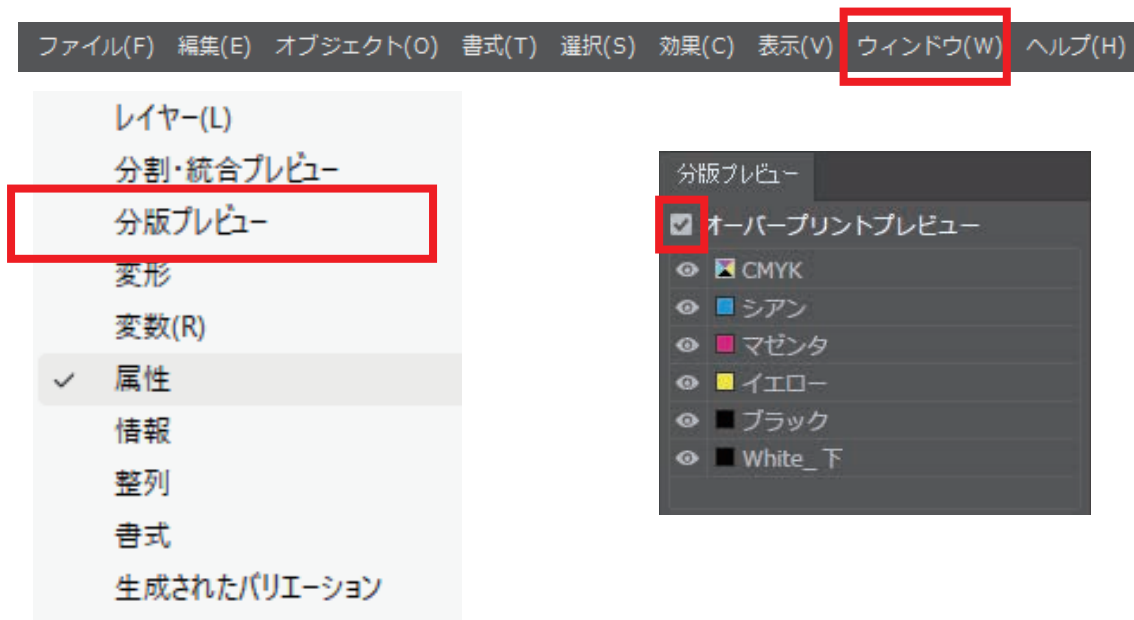


オブジェクトを選択してからオーバープリントにチェック

ホワイトを上印刷する場合は、White_上のオブジェクトにオーバープリントはかけないでください。

■ 分版レビューで確認

データの作成が完了したら、ウィンドウメニューから「分版レビュー」を選択して、分版レビューで分版が問題なく出来ているか確認をします。
パネルのオーバープリントレビューにチェックを入れて、目のマークをクリックすることで、CMYKや特色を個別に表示・非表示にすることができます。



全ての版を表示



CMYKのみ表示



White_下のみ表示



※データ作成時に、紙色のオブジェクトを背景に追加すると印刷仕上りをイメージしやすくなりますが、データご入稿時には印刷されないように必ず削除していただくようお願いいたします。

用紙の特徴

モダンクラフトについて

下地にホワイトあり



下地にホワイトなし



クラフト紙の「モダンクラフト」は写真(画像)を印刷するのにはあまり適していません。上図のように下地にホワイトを印刷して上にCMYKの写真を印刷した場合には、全体的に白っぽくなってしまいます。

仕上がりイメージ



実際の仕上がり



イラストなどの線画は、下地にホワイトを印刷しCMYK版を上印刷した場合でも、ほぼイメージ通りに印刷も仕上がりますのでおすすめです。

しおり 穴あけ指示の出し方

位置のご指示は、illustratorでガイドを作成されるか、見本用のデータを入稿データと一緒にご入稿してください。

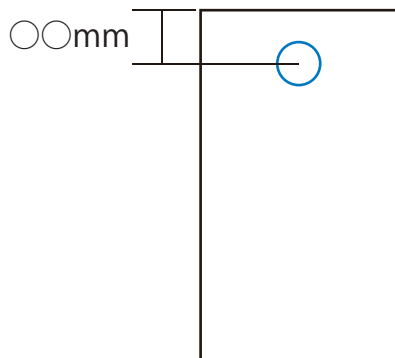
穴の位置は、短辺のセンター上部になります。

穴のサイズはご注文時オプション選択画面でご選択ください。

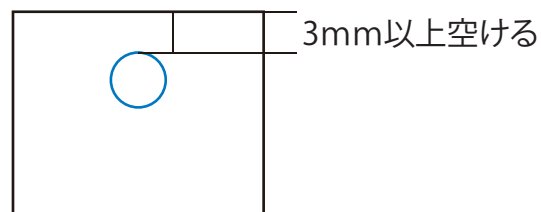
紙の端から穴の中央までの距離を指定してください。下図参照

※用紙の端から穴の端までは、3mm以上空けて下さい。(強度とズレの問題により)

見本



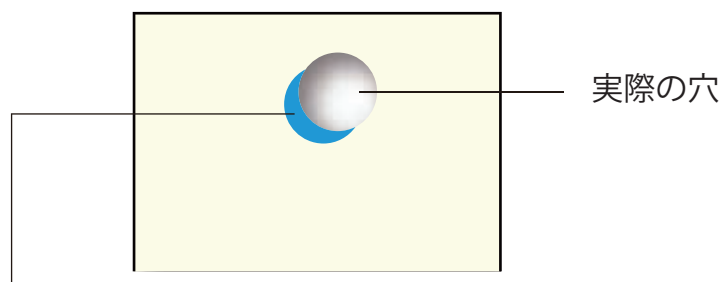
注意事項



注意事項

1.データに穴位置を実線またはオブジェクトで配置されると、それがそのまま印刷され、実際の穴の位置とズレが出ますので、穴の位置は、ガイドか見本用のデータを別でご作成下さいませ。

仕上がりイメージ



アタリはそのまま印刷されてしまいますのでご注意ください!